

善久―北場線の早期解決を 町、市、住民などで話し合う

A議員 町道善久―北場線の交通対策だが、交通量が増え大型車が通ると振動が発生し騒音などで日常生活に著しい支障をきたしている。

大型車の通行止めを願った。「町道善久―北場線大型車通行止めをお願いする会」



町道善久―北場線

では一千余名の署名を集めて八月に関係機関に陳情しているが町は住民の立場で速やかな解決を強く求めたい。

総務課長 八月三日から十月まで二戸の住宅で調査したが振動については基準を超えなかった。騒音は一回超えたことがあった。夜間については調査していないのでいずれ調査したい。

対策として九月二十六日に新潟市、流通センター、地元警察と町の五者で会議をする予定である。

町長 小針バイパスが出来ればよいのだが、遅々として進まないのが現状だ。促進するよう新潟市と共にお願いしたい。西バイパスは新潟市は測量が終了、黒崎は未測量という段階である。

河川博で何を視察したのか 治水、利水などを再認した

A議員 アメリカのニューオリンズで開かれた国際河川博覧会の視察旅行で町長は何を視察されたのか。広報くろさきの町長の日誌を読んでもわからない。公費八十万円を費やしている。

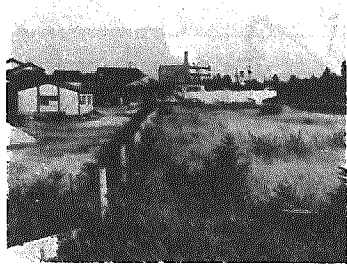
町長 日誌には初めから書いているのでわかりにくいかもしれない。本町は信濃川と中の口川の合流点で、治水、利水、水質汚濁などを考えねばならぬ。

財政を考えながら優先する所から手をつけた。

町道の総延長は二百二キロあり改良延長が八十五キロ、未改良延長が百七十七キロ。八十八キロを舗装率は四三%。ただ、農道を除くと八〇%は改良が終わっている。今後見直した上で整備していきたい。私道は昨年補助している。今後継続したい。

亀田―内野線は総工費十二億五千六百万円、五十四年から用地買収に入り、今年度は一千二百万円の予算。今までの合計が六千五百五十万円で四・九%の進捗率である。何年にも出てくるかわからない。

小針バイパスは五十二年に



小針バイパス。寺地駅付近

し尿のくみ取りの領収書は 必ず出すように業者に指導

C議員 一般廃棄物処理は業者委託で処理しているが、し尿のくみ取りや浄化槽の清掃

業務をして料金を受取っても領収書をよこさない住民から聞いている。

らない問題がある。河川博で

認識を深めてきた。

一般競争入札にできないか 指名競争入札を継続したい

B議員 入札制度は一般競争入札と指名競争入札があるが、本町は大半が指名競争入札である。地方自治法では原則は一般競争入札であるので、本町もそうしたらどうか。

指名競争入札の場合、業者数も問題になると思うが、何社ぐらいにするのか。

また、入札業者、金額を閲覧方式で公表するよう通知があるが、本町も結果を広報に



町に指名願いを出している業者は約400

載せるだけでなく、全業者、金額を公表するべきと思うが、助役 契約は一般競争入札、指名競争入札、随意契約の三種類あるが、一般競争入札の場合、事業によって新聞などで公表しなければならず金がかかる。国県でも一般競争入札はほとんどない。本町では町有地の処分ときは一般競争入札である。

町には四百社ほど指名願いが入っているが、この中から実績、技術、資本金などをみて決めている。町内の業者でできる小規模なものは町外者はほとんど指名しない。

大規模工事の場合は十社ほど指名している。

公表だが全入札経過を掲示板で公表することが必要あるかどうか、業者間の問題も出てくると思うのでできるだけ公表したくない。

小規模工事は地元の業者に 地元でできるものは地元

B議員 入札に関して町内業者を優先できないか。五百万円以内のものでも町外業者が請負っていることもある。町

領収書をおくおかないという問題よりも、町の委託で仕事をしているわけだから、ガス、水道と同様に、基本料金、使用料金を明記した領収書があっても当然ではないか。保健衛生課長 清掃料金は環境整備事業組合で定めた基準に沿って徴収している。水洗トイレを設置すると事前に契約書を取り交わし作業が終了すれば浄化槽の点検管理表を報告し受領書を発行している。

ることになっている。黒崎の場合には後日徴収している。くみ取り料はそのつど料金を頂く場合と後日徴収する場合があり、もちろん領収書を発行することになっている。領収書は単価、数量、金額が入っている。

ただ、今年の春領収書が一部交付されていない地域がある聞き、業者にはそういうことのないよう強く指導していきたい。

来年度採用の職員数は 退職者が決定してから

D議員 町職員募集だが、今年度は公募採用しなかったが庁舎内には臨時職員が目立ち不正常的な事務体制にあると思う。

地方公務員法では六か月を超えない範囲での臨時職はやむを得ないものとなっているが、それ以上は勤務成績をみて正職員にするのがたて前となっている。

特に給食センターは十五名中五人が臨時で慢性的になっている。町長はセンターの民間委託を考えておられるが、国でも取りざたされている問題である。

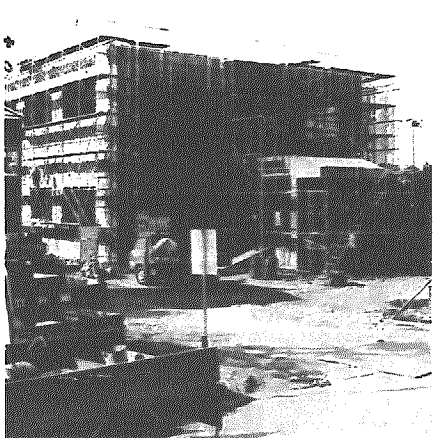
町長は正職員の採用はあくまで公募で正規の試験をおこななければならないと言っていたにもかかわらず、今年七月に二名を無試験で採用した。来年度の募集が広報に載っていたが、事務職、保母とも若干名となっており人数が確定していないのはどうしてか。臨時職員が二十八名もおり顔をみるとあちこちで、二年いる人がいる。臨時職員を増やして解決するという問題は問題があるのではないか。

町長 今職員定数は二百四十名で実際は二百三十六名の職員がいる。

まず、二名を無試験で採用したことだが事情があった。今年度当初に農業共済事業の広域合併を六十年にするとい

内業者育成のために配慮できないか。

町内業者が受注した工事はほとんど町外業者である。町



ているが、町外業者の場合、系列業者が優先されている。例えば北部地区公民館工事はほとんど町外業者である。町外業者受注の場合、地元労働者を雇用するよう条件づけできないか。

町長 地元業者が利用できるものはできるだけ発注している。町外者の大手の業者も使うよう申し入れてはいる。

新幹線側道を買うのか 巨額なので財政負担大

C議員 昨年町道路線の見直しがされたが、今後どのように整備していくのか。町道認定しない私道はどう取組むのか。

本町でも早く開発された地域は道路が整備されていない。住民は不便を感じているが、どう考えているのか。

現在本町に県道バイパス路線の整備事業が推進されているが、亀田―内野線、西バイパス、小針バイパス、新潟―燕線、鳥原―寺地線の進み具合

合と今後の用途は、難行しているのならば理由を聞きたい。主要路線が町北部にかかるが、南部とつなぐ唯一の道路として新幹線の側道があると思う。側道は鉄建公団との交渉では二億円の巨費で買わなければならないというが、どうするのか。

町長 新開地は今考えれば法的に欠陥があったと思う。その当時は良かったわけだが、それを今町が背負って道路や下水をやらなければならない。



役場庁舎内

来年度採用職員数は一般職一名、保母五、六名、栄養士一名を考えているが決定は一月末になる。というのは退職者が確定しないと決められないからで、そのため若干名とした。試験は県の人事事務組合に委託しており、町は結果だけ知らされる。この後面接などで決めている。

臨時職が多いということだが、今年度町史編さん室を設けたり、年度末に退職者があったり、産休代替があったりして多い。

六か月を過ぎると、ということがあるがそうならないようにしたい。

給食センターは国も民間活力の導入を要請している。言われるとおり五名の臨時職員がいるが、せめてこういうものぐらいい臨時にしていただけないかと思う。長期的にはセンターの職員がいなくなるといつてもなくせないので。

都市下水路の見通しは 六十一年度の一部通水

D議員 都市下水路整備について伺いたい。役場前の県道は集中豪雨のたびに水浸しになる。以前からわかっている、ことなので対策すべきだ。六十二年に事業認可を取り直すということで、当初の計

初計画では大野一幹線が